

オンライン配信あり

金属材料研究所 講演会

日時 2022/5/24(火)

※聴講無料、オンライン聴講の事前申し込み不要

午前 10:00~12:10

10:00~10:10 所長挨拶 所長 古原 忠

一般講演(所内教員)

10:10~10:50
薄膜化学で拓く
トポロジカル界面物性

教授 塚崎 敦



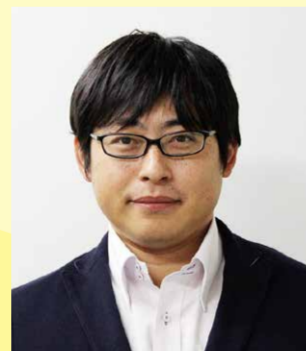
10:50~11:30
FCC構造を有する耐水素高強度合金の
成分・組織設計指針

准教授 小山 元道



11:30~12:10
新材料創製に向けた特殊環境下における
結晶作製技術の開発

准教授 横田 有為



実行委員 宮坂 等、宮本吾郎

午後 13:30~18:20

特別講演

13:30~14:30
レアメタルの状況と問題点、ボトルネック

東京大学 生産技術研究所
所長、教授 岡部 徹

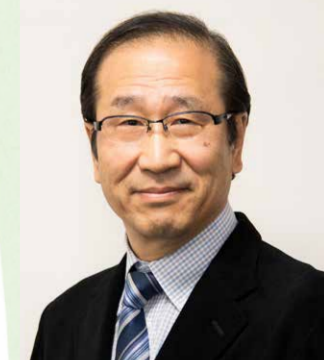


社会が発展すればするほど、多量のレアメタルが必要となる。本講演では、レアメタルの現状と課題について概説し、レアメタルに対する誤解や偏見、さらには、日本では知ることが出来ない「裏の問題」についても紹介する

プロフィール
1995年~東北大学素材工学研究所(現:多元物質科学研究所)の助手として5年間勤め、2001年より東京大学生産技術研究所の助教授に着任し、同研究所の准教授を経て、09年から教授に就任した。19年から21年まで東京大学副学長に就任。21年から東京大学生産技術研究所所長。専門分野は、材料化学、環境科学、循環資源工学、レアメタルプロセス工学。30年以上、一貫してレアメタルの研究に取り組んでいる。

14:45~15:45
規則性ナノ空間を自在につくり機能を生み出すサイエンス
—多孔性配位高分子(PCP)/有機金属錯体(MOF)の過去・現在・未来—

京都大学高等研究院 物質—細胞統合システム拠点
拠点長、特別教授 北川 進



有機物と無機物から組み上がるPCP(MOFとも呼称される)は多孔性構造を自在設計でき、気体分子やイオンを捕獲、貯蔵、輸送、変換する基盤技術に資する材料として期待されています。この革新的材料のサイエンスを紹介し、現代の課題(地球環境、エネルギー、医療、健康)への挑戦について話します

プロフィール
京都大学大学院工学研究科博士課程修了。近畿大学理工学部助教授、東京都立大学理学部教授、京都大学大学院工学研究科教授を経て現在に至る。日本学士院会員。有機分子と金属イオンによる配位結合を用いる「配位空間の化学」を開拓し、ナノ細孔空間場における未開の現象の発掘に魅せられている。

16:00~17:30 ポスターセッション

18:00~18:20 ポスター賞表彰式

参加・聴講方法の
詳細はこちらから

金研講演会

検索



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班

TEL 022-215-2144 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>

E-MAIL k.kouen.imr@grp.tohoku.ac.jp